



京都大学原子炉実験所・助教 小出裕章さんの講演

核兵器反対と原子力発電反対

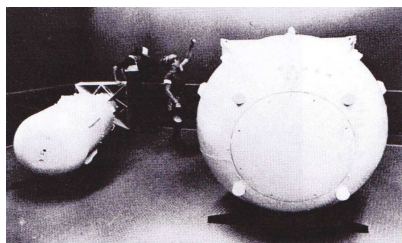
八月六日月曜日、小出さんの講演を聞きに、広島YMCA・国際文化ホールで行われた「8・6ヒロシマ・平和のタベ」に参加しました。以下、講演の要点をまとめました。

(文中の図は講演資料から。)

「私」は小出さんのこと

原発は核兵器開発から

下の写真は右が長崎に落とされたファットマン。左が広島に落とされたリトルボーイです。大きさが違うのは、原料が広島



が濃縮ウラン、長崎がプルトニウムだからです。

原爆は、天然ウランの中に0・七%しかない燃えるウラン235を取り出して集めてつくります。九九・三%を占めるウラン238は燃えないからです。この燃えるウラン

235を集める作業を「ウランの濃縮」と呼びます。この作業は同位

体分離と言う非常に特殊なやり方で行います。そのためアメリカはオークリッジというところに広大な秘密都市をつくり、五万人とか十万人とかいわれる科学者、労働者をここに集めました。

核兵器製造中心技術は濃縮・原子炉・再処理

アメリカは二通りの原爆製造方法を考えました。一つは採掘したウランを濃縮して爆弾に使う。このときできたカスが劣化

ウラン濃縮を行ったオークリッジの秘密都市

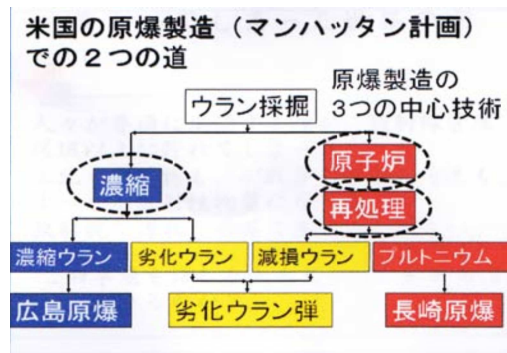


ウランです。しかしたった0・七%しかない燃えるウラン235を取り出すのは大変です。

それでももう一つ、プルトニウムをつくって爆弾に使うことにしました。

燃えないウラン238に中性子をぶつけると、捕獲してウラン239になります。これは不安定なのでβ線を出しながら

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



崩壊して、ネプツニウム239になります。これも不安定で、β線を出しながら崩壊し、プルトニウム239になります。そしてこのプルトニウム239は燃えないウラン238と同じように、中性子を一個ぶつけるだけで核分裂を繰り返して、猛烈なエネルギーを出し

続けます。プルトニウムをつくる方が手取り早いということ、この方法も進められました。このときプルトニウムをつくるためにできたのが原子炉です。この原子炉の中にできたプルトニウムを分離して取り出すのが再処理で、このときできたカスを減損ウランと言います。アメリカはこの劣化ウラン、減損ウランを使って劣化ウラン弾をつくりました。世界を支配しようとする国々は「濃縮」「原子炉」「再処理」の三つの技術を持ちたいと願いました。

原子力にかけた幻の夢

「さて原子力を潜在電力として考えると、まったくとつもないものである。しかも、石炭などの資源が今後、地球上から次第に少なくなっていくことを思えば、このエネルギーの持つ威力は人類生存に不可欠なものといつてよいだろう。」

一九五四年七月二日の毎日新聞の記事ですが、私は当時、これを完璧に信じていました。しかし、この宣伝はまったくのウソです。ウランは石油の数分の一、石炭に比べれば数十分の一しかありません。

せん。さらに記事は「電気料は千分の一になる。」

「原子力発電には火力発電のように大工場を必要としない。大煙突も貯炭場もいらない。また毎日石炭を運び込み、たぎらを捨てるための鉄道もトラックもいらない。密閉式のガスタービンが利用できれば、ボイラーの水さえいらないのである。もちろん山間へき地を選ぶこともない。ビルディングの地下室が発電所ということになる」と続きます。

原子力発電所は巨大で火力発電所より小さいというのではないし、ビルディングの地下室が発電

所にもなりませんでした。都会で使う電気を、都会より離れたところにつくって、長い送電線を使って電気を送ったのです。

膨大に生み出される放射能

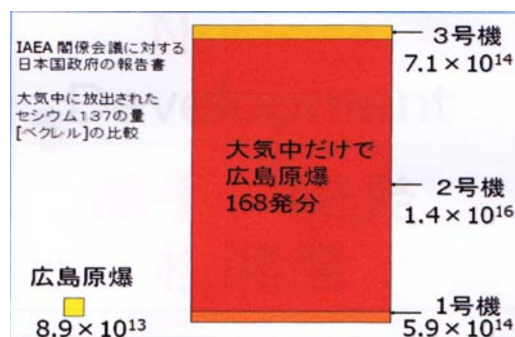
広島に落とされた原爆のウランの量は八〇〇g。原子力発電所一基(百万KW)が一年間に燃やすウランの重量は一トンです。そして同じ量の核分裂生成物11死の灰を生み出します。広島原爆の千倍を超える量です。

これが事故を起こしたら大変なことになるので、原子力発電を進めてきた

人たちは、たくさんの法的準備をし、原子力発電所は過疎地につくるということにしました。

広島は何百倍もの死の灰―福島原発事故

日本政府がIAEA閣僚会議に出した報告書によれば、福島原発事故で



放出された放射能は、セシウム137でいうと大気中だけで広島原爆の一六八発分に相当します(ベクレルの比較)。

これは過小評価です。

日本政府は今回の事故を起こした最大の責任者で、むしろ犯罪者です。犯罪を犯した人間が自分の罪を重く申告することはありません。たぶんこれの二倍か三倍出しただろうと思います。そしてこれはあくまで大気中です。多分ほぼ同じ程度の量が海に流れました。被曝しても広島島の街は復興したじゃないかという人たちがいますが、何と云っても量が違います。

そしてもう一つの違いは、広島の場合、きのこ雲によって核生成物の大部分は成層圏に打ち上げられました。

福島の場合は、成層圏には出ず、原子力発電所から風に乗って地を這うように拡がりました。

福島県の東半分を中心にして、宮城県と茨城県南部・北部、さらに栃木県、群馬県と千葉県北部、新潟県、埼玉県と東京都の一部地域が、放射線管理区域にしなければならぬほどの汚染を受けました。

放射線管理区域では飲食はダメ、タバコもすえません。そこで寝てもい

けません。人は住んではいけないのです。

日本は「法治国家」か？

法律を守るのは国家の最低限の義務です。放射能に関して日本では、一般人は年間一ミリシーベルト以上の被曝をしてはいけないと決めています。放射線管理区域から何か物を持ち出すときには、一平方メートルあたり四万ベクレルを超えるものは出してはいけないという法律があります。

しかし、事故が起きると政府は自分が決めた法律を反故にしました。支援も保障も何もしない、

逃げたいやつは逃げろー百万人を超えるような人々を苦難に落としながら誰も処罰されません。東電の会長も社長も重役も、これまで原発を進めてきた自民党、今進めている民主党、国の官僚も原子力の旗を振ってきた学者も原子力発電所は絶対安全だと判決を下した裁判所も、誰一人として処罰されていません。

騙された者にも責任はある

土地も食べ物も、がれきも下水の汚泥も、すべてが放射性物質になってしまいました。放射能で

汚れた世界で生きるしかありません。この事態を許した大人として、私たちはどう生きるのか？

これまで原子力を推進して来た人たちには大きな責任があります。私も旗は振らなかったけれども違った意味で責任がある。でも、皆さんはどうですか？安全だといわれてきて、多くの国民が騙されました。それは仕方がないと思います。

でも、騙されたから無罪なんだと言ってしまうば、また騙されます。騙されたなら騙された者にも責任はある。この責任をどうとるのかということが問われています。

目的で訳が変わる
NUCLEAR

同じNUCLEARと言う言葉がNUCLEAR WEAPONを訳したときは核兵器、NUCLEAR POWER PLANTでは原子力発電所。軍事利用では核、平和利用では原子力と訳されています。

ではNUCLEAR DEVELOPMENTは何と訳すでしょうか？イラクや朝鮮民主主義人民共和国がやろうとする核開発と訳します。

とんでもない悪いことをしようとしているとい

うふうに。では日本がやるときには？原子力開発と訳します。同じ単語を相手によって核と訳したり原子力と訳したりして使い分けているのです。

「平和利用」に隠れ
実質的な核保有国に

一九九二年十一月二九日の朝日新聞に個人的見解として外務省幹部の談話が載りました。

「日本の外交力の裏づけとして、核武装の選択の可能性を捨ててしまわない方がいい。

保有能力は持つが、当面、政策として持たないという形でいく。

そのために、プルトニウムの蓄積とミサイルに転用できるロケット技術は開発しておかなければならない」

日本は発電のためといながら、すでに四五トンものプルトニウムを持っています。ミサイルに転用できるロケットもひんぱんに上げています。しかし朝鮮民主主義人民共和国が上げるときにはミサイルだから打ち落とせと言っています。

世界を支配する国連常任理事国のアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国は戦勝国であるとともに核兵器保有国です。その五力国は核兵器

製造の中心技術をすべて保有しています。そして、核不拡散条約をつくって核の独占をはかりました。しかし、核兵器保有国ではないのに、中心三技術をすべて保有している国が世界に一つあります。それが日本です。

原子力の平和利用なら良いというのは間違いです。核を廃絶しなければと思うのなら原子力も廃絶しなければなりません。
(まとめ、終わり)

講演を聴いて、「騙された者にも責任がある」という言葉の真意が分かりました。私は原発が安全とは思わなかったけれ

ど、心のどこかでまさか事故なんか…と思ってました。安心したかっただけだと思っています。

事故が起こった今は原発を廃炉にしたいと活動に参加しています。毎週金曜日、夕方六時くらいから九時くらいまで肥後橋にある関電本店前で抗議行動があります。よかったら参加してくださいね。
(アート・アド分会 N)



二〇一二年八月七日撮影
原爆ドーム